

筑波大学附属病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

特徴

- 1) 内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員がついて、個々に合わせた多彩なキャリアを支援します
- 2) 10分野のSubspecialty分野のプログラム・カリキュラムの基幹施設であり、内科専門研修からSubspecialty専門研修へと一環して研修できます。また、Subspecialty専門研修修了後に至る長期的視野のもと育成します
- 3) 最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医の取得をすることが可能であり、早期取得を目指す場合「運動研修」が可能です。
- 4) 進路のSubspecialty分野を決めずに3年間内科を幅広く研修することが可能です(病院総合内科に所属します。)
- 5) 専門研修を行いながら大学院進学が可能です。(大学院専従中や留学中は義務年限猶予期間となります)
- 6) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします。

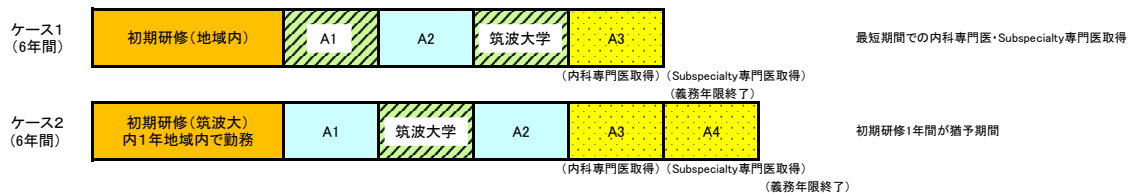
研修例：(あくまで例であって、個別にアレンジします)

オレンジ色	初期研修期間
水色	内科専門研修期間
黄色	内科系Subspecialty専門研修期間※
緑色	内科・Subspecialty運動研修※※期間

※Subspecialty専門研修に関しては、各分野において2020年6月現在日本専門医機構において分野に関して協議中
 ※※内科・Subspecialty運動研修とは内科専門医を取得するための症例経験とSubspecialty専門医を取得するための症例経験を並行して行っていく
 研修でプログラムを並行に進めるものです。(詳しくは内科学会ホームページをご参照ください)
 運動研修として認定される条件は各Subspecialty分野ごとに決まっております。(詳しくは各Subspecialty分野ホームページ等をご参照ください)



(2) 一般修学(貸与期間と同期間医師不足地域内で勤務)



内科専門研修研修病院群

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内医療機関)	茨城県立中央病院、茨城西南医療センター、茨城東病院、日製日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院、水戸済生会病院、友愛記念病院、神栖済生会病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター、小山記念病院、土浦協同病院なめがた地域医療センター、日鉦記念病院、常陸大宮済生会病院、取手北相馬保険医療センター医師会病院、とりで総合医療センター、龍ヶ崎済生会病院、東京医大茨城医療センター、総合守谷第一病院、茨城県立医療大学付属病院、牛久愛和病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外医療機関)	石岡第一病院、いちほら病院、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、土浦協同病院